

26年9月分

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間

平成26年 8月20日～ 26年9月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の間屋、仲買・小売商に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
9月分の回答企業数は48社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/9月	10月	11月
仕入動向	国産材	△ 11.3	△ 7.7	△ 9.2
	外材	△ 12.2	0.0	△ 3.5
販売動向	国産材	△ 5.1	△ 1.3	△ 3.9
	外材	△ 12.2	0.0	△ 3.5
在庫動向	国産材	△ 15.0	△ 11.5	△ 6.6
	外材	△ 13.6	△ 10.5	△ 3.6

・国産材製材品の仕入れは、3ヶ月連続して減少、外材は9月の減少、10月の横ばいを経て11月はやや減少に。
・販売動向は、国産材製材品は3ヶ月連続してやや減少、外材は9月の減少、10月の横ばいを経て11月にはやや減少に。
・製材品の在庫は、国産材、外材共に3ヶ月連続して減少。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目	26/9月	10月	11月
スギ正角(グリーン)	△ 1.7	△ 1.8	0.0
スギ正角(KD)	0.0	1.6	0.0
ヒノキ正角	△ 3.2	1.6	5.2
ヒノキ土台角	△ 3.2	3.3	3.6
米ツガ正角(現地挽)	△ 3.8	0.0	0.0
米ツガ防腐土台角	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物(現地挽)	△ 3.7	0.0	0.0
米マツ平角	△ 11.7	1.7	1.9
北洋アカマツタルキ(現地挽)	△ 14.1	△ 1.6	0.0
ホワイトウッド集成管柱	△ 15.2	△ 3.1	0.0
レッドウッド集成平角	△ 10.7	△ 1.8	0.0
型枠合板(輸入)	0.0	8.3	5.4
針葉樹構造用合板	△ 5.0	8.6	5.6
針葉樹構造用合板(厚物)	△ 5.4	3.7	4.0

・スギ正角(グリーン、KDとも)はやや弱保合ないし保合で推移。
・ヒノキ正角及び土台角は9月のやや弱保合の後、10月、11月は総じてやや強保合に。
・米ツガ製材品は9月のやや弱保合ないし保合から10月、11月は保合に。
・米マツ平角は、9月のやや弱保合が10月、11月はやや強保合に。
・北洋アカマツタルキ、WW管柱及びRW平角も、9月、10月のやや弱保合が11月は保合に。
・型枠合板は9月の保合から10月、11月はやや強保合に。針葉樹合板は9月のやや弱保合から10月、11月はやや強保合に。

モニターからのコメント

〈モニターからのコメント〉

1. 荷動き	
仕 入 れ 動 向	<p>円安傾向で採算の逆ザヤは、ますます顕著で、そろそろカナダからの撤退を考えないといけないかも・・・。(東京：米材問屋) 米マツ一般材丸太では8月積みUS物輸出価格が前月に引き続き若干下げ模様、カナダ物もセコグロは弱含み、中国、日本からの引き合いは好転している、一方オールド材は出材が少なく価格は上げ続けている。(東京：米材問屋) 産地の丸太不足でいかんともし難い。(東京：外材問屋) 弱い相場が続いたがこの辺りが底か。(東京：外材問屋) 売上減少しているため仕入れは当用買いで様子見状態。(東京：集成材問屋)</p> <p>産地は他国の買い付け増加により強含み、日本向けは交渉難航。(東京：中国・南洋材問屋) ラワン平割の現地価格は強含み、原木少なく価格のネゴの余地ない。(東京：中国・南洋材問屋)</p> <p>産地はジリ安。(東京：国産材問屋) 動き悪いので仕入れは控えている。(東京：国産材問屋)</p> <p>中間期に備え前月に比べ増やしたい。(東京：仲買・小売) まとまった話もなく、減ることはあっても増えることはなさそう。(東京：仲買・小売) 8月中旬お盆休みの後仕事の動きが全くない、見積もり提出で時間的には忙しい。(東京：仲買・小売) 景気が大変悪い。(東京：仲買・小売) 国産材、外材共に控えめではあるが、アカマツ関係の3mものはその限りでない。(東京：仲買・小売) 全体的に流通が良くないのか問屋に納品を待たされることが最近多い。(東京：仲買・小売) 国産材の仕入れは下げ、外材はいつもと変わらず。(東京：仲買・小売) まとまった物件が出てこない。(東京：仲買・小売)</p> <p>どの製品もあまり価格の変動がない。(東海：仲買・小売) 四国は天候悪く原木極端に減少、それでも製品の上がる兆候は現状ない、消費税増税前の駆け込み影響(先食い)がまだ消化されていない、需要は思った以上に少ないが10月はやや需要出てくる。(東海：仲買・小売)</p>
販 売 動 向	<p>徹底した当用買いに売り上げの伸びが見られず苦しい。(東京：米材問屋) 関東内陸では米マツ製材の減少分を内地スギでカバーしており、米マツ丸太の消費量は伸びていない、問屋はカスケード材中心で荷を動かしている。(東京：米材問屋) 材不足で注文に応じきれない。(東京：外材問屋) 当用買いに徹しており細かい商売が続いている。(東京：外材問屋) 8月の売り上げはここ数年で一番悪い、地場の工務店が仕事を取れず、消費税増税の影響が出ている。(東京：集成材問屋) 7月に在庫を減らしたので、いつでも買える状態、しかし販売不振で仕入れ少なく在庫は現状維持かややプラス。(東京：集成材問屋)</p> <p>造作の仕事、見積もりは盆明けから出てきたが仕入れコストアップで採算合わず。(東京：中国・南洋材問屋) 盆明けも造作材の荷動きは低調、仕事少なく加工も少ない。(東京：中国・南洋材問屋)</p> <p>依然として低調、8月は今年最低の売り上げ。(東京：国産材問屋) スギの羽目板の動きが良い。(東京：国産材問屋)。小割・スギ板よく動く、6尺3分板も動いた。(東京：国産材等問屋) スギ造作材は動きあるが、ヒノキ材が非常に悪い。(東京：国産材問屋)</p> <p>急速に売上が低下、仕事少ない。(東京：仲買・小売) 10月、11月頃に多少の荷動きがあるが仕事の量は少ない。(東京：仲買・小売) 来月以降増える見込みだがそれほど力強くない。(東京：仲買・小売) 中間期の動きに期待。(東京：仲買・小売) 7月、8月と動きあったが9月は細かな仕事しか聞いておらず動きは悪くなりそう。(東京：仲買・小売) 決まるかどうか分からない見積もりなので、今月以降の仕事量も見通しがつかない。(東京：仲買・小売) 近場の現場少なく遠い現場が多い、アカマツの間仕切材の売り上げ見通しが9月、10月とたつ。(東京：仲買・小売) 構造用、羽柄材ともバランス良く出ている。(東京：仲買・小売) スギ、エゾ垂木、WWはいつもの月並みに出る。(東京：仲買・小売) まとまった物件が出てこない。(東京：仲買・小売)</p> <p>関西特に大阪は販売がまだ上向かず低迷、外材(W.W)は過剰在庫で安いものが出回っている。(大阪：仲買・小売) 仮設材の荷動きが増加。(大阪：仲買・小売) 増税前の駆け込みのせいかわかりにくい。(大阪：仲買・小売)</p> <p>売上減少、荷動き悪くプレカット工場の稼働も8月最低、9月に期待もあまり芳しくない、年内は期待薄？。(東海：仲買・小売) 徐々に動き始めた。(東海：仲買・小売) 9月、10月は大きな展示会があるので安い商品を仕入れ販売に力注ぎたい、9月、10月、11月回復しないと今年は期待できない、10%消費税のためにも政府は住宅について支援策を実施すると思うのでやや回復の動きは良くなると思う。(東海：仲買・小売)</p>
在 庫 動 向	<p>在庫内容にバラツキが見られ、そろそろ投げ物が出る模様。(東京：米材問屋) 造作、建具用の製材原料の不良在庫は見あたらず、アラスカ材の入荷も増加し、物不足感は解消。(東京：米材問屋) 減少の一途。(東京：外材問屋) 安定した在庫。(東京：外材問屋)</p> <p>産地からの入荷量は依然として少なく欠品アイテム目立つ。(東京：中国・南洋材問屋) 入荷は少ないが出荷も鈍くバランスはとれている。(東京：中国・南洋材問屋)</p> <p>構造材が動かない。(東京：国産材問屋)</p> <p>8月に減らしたので9月は横ばいに戻す感じ。(東京：仲買・小売) 在庫は出来る限り少ない状態を続けている。(東京：仲買・小売) 急いで仕入れる物はなく通常通り。(東京：仲買・小売) 現状維持。(東京：仲買・小売) 下地材に使うようなものしか置けない。(東京：仲買・小売) 7月、8月に仕入れた在庫を出しても横ばい。(東京：仲買・小売)</p> <p>殆ど在庫なし。(大阪：仲買・小売)</p> <p>変わらず。(東海：仲買・小売) 9月は決算期なので在庫は処分し少なくした、今年の相場の上げは期待できず余分な在庫は持ちたくない、商品が不足するとは思わない。(東海：仲買・小売)</p>

<価格動向>。

スギ正角	<p>製品・丸太共相場的には無風、中国・四国地方の大雨が新材伐採にどう影響するか注目。(東京：国産材問屋) 川上で弱保合のように言われるが、実際の値下げは殆ど感じられない。(東京：仲買・小売) ヒノキに比べスギはがんばっている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 下げても量が売れる訳でない。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) KD材はすでに下がっており、これ以上の相場下落はない、上昇も外材が上がらない以上は難しい。(東海：仲売・小売)</p>
ヒノキ正角土台角	<p>落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 需要は減ったまま。(東京：仲買・小売)。保合。(東京：仲買・小売) 特に需要なし。(東京：仲買・小売) 全体的に先月と変わりなし。(大阪：仲買・小売) 原木がやや上昇も製品横ばい。(東海：仲売・小売) 正角は住宅着工が2012年度ぐらいの予想で、上昇は難しい、相場はすでに下落しているのでこれ以上の下げはない。土台角はすでに下落、駆け込み前に戻っているので横ばいが続くのでは。(東海：仲売・小売)</p>
米ツガ	<p>落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 上流は分からないが末端では仕入れ価格は横ばい。(東京：仲買・小売) 土台以外は殆ど流通せず。(東京：仲買・小売) 45×105×3mが少ない。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 角物が出ず、45×36の割ものしか出ない。(東京：仲買・小売) 全体的に先月と変わりなし。(大阪：仲買・小売) 変わらず。(東海：仲売・小売)</p>
米マツ平角	<p>弱かったが底入れか。(東京：外材問屋) 落ち着いている。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 集成材に引っ張られてとりあえず一度は下がるだろう。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 需要なし。(東京：仲買・小売) 原木価格やや上昇、製品荷動き悪く価格横ばい。(東海：仲売・小売)</p>
北洋アカマツタルキ	<p>3mものは不足気味。(東京：仲買・小売) B級に品薄感あり先行きわからない。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) Bグレードは下がっている、3mものは不足気味。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売)。少し値が落ちて来ているがまだ実感が出ない。(東京：仲買・小売) 全体的に先月と変わりなし。(大阪：仲買・小売) 品物余り気味。(大阪：仲買・小売) 変わらず。(東海：仲売・小売)</p>
WW・RW集成材	<p>集成平角は弱含みが続いている。(東京：外材問屋) 単価は若干弱含み。(東京：国産材問屋) 間柱は下がっている。(東京：仲買・小売) ジリ貧が続いている。(東京：仲買・小売) 弱めながらも相場は保合。(東京：仲買・小売)。間柱は下がっている。(東京：仲買・小売) 30円～50円位の下げ。(東京：仲買・小売) 構造材が必要とされる現場がない。(東京：仲買・小売) 全体的に先月と変わりなし。(大阪：仲買・小売)。 WW1, 880円/本。RW59, 000円/m³。(東海：仲売・小売)</p>
合板	<p>現地は強気だが荷動きが低調。(東京：合板問屋) 8月末の投げの後9月値戻しのアナウンスがあるが、いかがか。(東京：仲買・小売) 保合。(東京：仲買・小売) 弱い様だが、市場の反発により分からない。(東京：仲買・小売) 合板など動き悪く、投げ売りで一時的に価格下がるかも。(東京：仲買・小売) 輸入合板は一部上昇したが続かないだろう、国産合板は今のところ値崩れしていない。(東京：仲買・小売) 針葉樹は高唱えだが実際どこまで浸透するかは不透明。(東京：仲買・小売)。保合だが針葉樹合板は多少の上昇がありそう。(東京：仲買・小売) ラワン関係が上がってきている。(東京：仲買・小売) 針葉樹合板は少し値下がり状況。(大阪：仲買・小売) 変動なし。(大阪：仲買・小売) 在庫抑えている。(大阪：仲買・小売) 針葉樹構造用合板12mmは少し安くなった。(東海：仲買・小売) 針葉樹構造用合板930円/枚、2,250円/枚。(東海：仲売・小売)</p>